

行政経営改革アクションプラン（令和２年度～令和４年度） 前計画（平成３１年度～平成３３年度）からの変更点

１ はじめにと共通項目の変更点

番号	頁	タイトル	項目	変更前	変更後	理由等
1	3	2 計画期間	文中	平成 31 年度から平成 33 年度まで	令和 2 年度から令和 4 年度まで	期間変更のため。
2			図表 4 「計画期間」	平成 30 年度から平成 33 年度まで	令和元年度から令和 4 年度まで	
3				平成 31 年度～平成 33 年度に推進する取組を計画化	令和 2 年度～令和 4 年度に推進する取組を計画化	
4	5	3 取組の体系	図表 6 「将来像ごとの施策と改革手段」	将来像 5 人材・品質 ①少数精鋭の推進 1 人材育成の推進 (8) ③行政情報化の推進 1 行政サービスの高度化 (4) 2 行政サービスの効率化 (2) ④業務改善の推進 2 職場環境の向上 (3)	将来像 5 人材・品質 ①少数精鋭の推進 1 人材育成の推進 (7) ③行政情報化の推進 1 行政サービスの高度化 (3) 2 行政サービスの効率化 (3) ④業務改善の推進 2 職場環境の向上 (4)	取組の追加、削除のため。
5	6	4 重点取組	図表 7 「将来像別重点取組」	将来像 2 「情報・共有」 7 国の情報発信ツールの活用	将来像 2 「情報・共有」 7 国・県の情報発信ツールの活用	「全国移住ナビ」が令和 2 年 3 月で終了するが、引き続き活用できる情報発信ツールにより情報発信を行っていくため。
6	7			将来像 3 「財産・資産」 11 民間委託の活用	将来像 3 「財産・資産」 11 民間との連携活用	ワーキングや地方創生に関する包括連携協定を通じ、民間への委託に限定することなく引き続き官民連携の活用を重視した取組を実施していくため。
7	8	5 目標	図表 8 「計画の目標指標と目標値」	目標値	平成 30 年度に実績を追加表記	目標と実績との比較を明示するため。

番号	頁	タイトル	項目	変更前	変更後	理由等
8	8	6 全体スケジュール	図表9「全体スケジュール」	平成31年3月から平成32年9月まで	令和2年3月から令和3年9月まで	期間変更のため。
9				■アクションプラン策定（平成31年度～平成33年度）	■アクションプラン策定（令和2年度～令和4年度）	

2 具体的な取組内容の変更点

■全体の変更点

- ・現状に合わせて各種文言を見直し
- ・取組の追加、削除に伴う番号の変更
- ・改革工程の期間を令和元年度～令和4年度に修正

■個別の変更点

○新規取組

番号	頁	将来像	施策	手段	件名	概要	改革工程	効果	主幹組織	関係組織
1	49	5 人材 品質	③ 行政情報 化の推進	2 行政サー ビスの効率化	3 AI-OCR・RPA の活用	AI-OCR・RPA を利用する業 務の選定及び運用の見直し を行い、定例的なパソコン 操作の自動化を進める。	令和元年度調整中 ・導入業務の選定 ・操作研修の実施 令和2年度から取組開始 【AI-OCR】 ・愛知県の共同利用で 利用開始 ・追加業務の設定及び 導入 【RPA】 ・環境構築、利用開始 ・追加業務の設定及び 導入 ・シナリオ等を作成で きる職員の育成	・業務の効率化 ・作業の自動化 ・入力ミス等の軽減	情報システ ム課	関係各課
2	51	5 人材 品質	④ 業務改善 の推進	2 職場環境の 向上	4 ハラスメン ト防止研修の 実施	管理監督職員のハラスメン ト防止に関する意識の向上 を図る研修を実施する。	令和元年度調整中 計画立案 令和2年度から取組開始 研修の実施	・職員の能力をより 発揮できる職場環境 の構築	人事課	

○その他の変更

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
1	12	2 ワークショップの活用	概要	密集市街地整備事業において、 <u>地元活動団体とワークショップを実施する。</u>	密集市街地整備事業、 <u>新規公園の計画段階において、地元関係団体とワークショップを実施する。</u>	主管組織の追加による変更のため。
2			改革工程	<u>調整中</u>	<u>令和2年度から取組開始</u>	
3			主管組織	都市計画課	都市計画課 公園緑地課	
4			その他	<u>実施時期未定</u>	<u>削除</u>	
5	13	3 アダプトプログラムの推進	効果	・市民協働の推進 ・維持管理費の削減 ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	・市民協働の推進 <u>削除</u> ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	市民協働が目的であり、維持管理費の削減額の算出が困難なため。
6	15	3 企業など他団体との人事交流	改革工程	民間への <u>短期派遣研修の実施</u>	民間への <u>派遣研修の実施</u>	年単位の派遣を行うため。
7	18	2 国・県の情報発信ツールの活用	件名	国の情報発信ツールの活用	国・ <u>県</u> の情報発信ツールの活用	「全国移住ナビ」が令和2年3月で終了するが、引き続き活用できる情報発信ツールにより情報発信を行っていくため。
8			概要	地方創生に関する国の情報発信ツールを活用する。	地方創生に関する国・ <u>県</u> の情報発信ツールを活用する。	
9			改革工程	<u>全国移住ナビ等への情報掲載</u>	<u>穂っとネット東三河等への情報掲載</u>	
10	20	4 事業の庁内における評価の実施	概要	庁内における評価を実施し、 <u>説明の機会を充実する。</u>	庁内における評価を実施し、 <u>施策の形成力の向上を図る。</u>	庁内評価により事業内容の充実化を図るため。

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
11	21	3 庁内評価結果の公表	件名	<u>事前</u> 評価結果の公表	<u>庁内</u> 評価結果の公表	庁内評価を行う中で事前評価も併せて行うため。
12			概要	庁内における評価などの <u>事前評価</u> の結果を公表する。	庁内における評価などの結果を公表する。	
13			改革工程	<u>事前</u> 評価の結果公表	<u>庁内</u> 評価の結果公表	
14	24	1 民間との連携活用	件名	民間 <u>委託</u> の活用	民間 <u>との連携</u> 活用	ワーキングや地方創生に関する包括連携協定を通じ、民間への委託に限定することなく引き続き官民連携の活用を重視した取組みを実施していくため。
15			概要	直営で実施している事務事業を民間に <u>委託</u> する。	直営で実施している事務事業等について <u>連携した取組みを実施する</u> 。	
16			改革工程	民間に <u>委託</u> できる事業の検討	民間 <u>と連携</u> できる企業の検討	
17			効果	・経費の削減	・経費の削減 ・市民サービスの向上	
18		2 体育施設の指定管理者公募の実施	効果	・経費の削減：【11,158 千円減】	・経費の削減：【9,409 千円減】	時点の修正
19	26	1 ネーミングライツ実施	件名	体育施設などのネーミングライツ実施	<u>ネーミングライツ実施</u>	実施施設の見直しを行ったため。
20			概要	体育施設を始めとする公共施設の命名権を民間企業に数年間単位で付与する。	<u>公共施設</u> の命名権を民間企業に数年間単位で付与する。	
21			主管組織	<u>スポーツ課</u> 都市計画課	都市計画課	

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
22	26	3 公用車への広告募集	効果	・ 自主財源の確保：【168 千円増】	・ 自主財源の確保：【144 千円増】	音羽支所分公用車を所管替えし1台減少となるのため。
23	27	別掲 体育施設などのネーミングライツ実施		<u>別掲番号1及び2</u>	削除	実施施設の見直しを行い、別掲が不要となったため。
24	28	1 企業誘致の推進	効果	・ 自主財源の確保：【65,857 千円増】	・ 自主財源の確保：【78,475 千円増】	時点の修正
25	29	2 公共下水道事業等の地方公営企業法の適用による財政の健全化	件名	公共下水道事業等の地方公営企業法の適用	公共下水道事業等の地方公営企業法の適用による財政の健全化	令和元年度に企業会計へ移行したため。
26			改革工程	<u>企業会計移行</u>	<u>複式簿記による正確な経営状況、財務状況の把握、分析</u>	
27	33	2 公共施設の広域利用推進	改革工程	<u>調整中 実施方法の検討</u>	<u>令和2年度から取組開始 実施方法の構築・運用</u>	令和元年度で市プールを廃止することとしたことにより、東三河地域において各市の施設の相互利用をより重視するため。
28			その他	<u>実施時期未定</u>	削除	
29	34	1 市有地や市施設の空きスペースの有効活用と処分	効果	・ 自主財源の確保：【85,860 千円増】	・ 自主財源の確保：【67,071 千円増】	時点の修正
30	35	1 電力自由化による電力契約の変更	効果	・ 電気料金の削減：【34,876 千円減】	・ 電気料金の削減：【51,582 千円減】	時点の修正
31	41	2 アンケート調査などの実施方法の構築	改革工程	<u>調整中 実施方法の検討</u>	<u>令和2年度から取組開始 実施方法の構築・運用</u>	ワーキングをアンケート等モニタリングの手法として重視するため。
32			その他	<u>実施時期未定</u>	削除	
33	42	1 職員研修の充実化	効果	・ <u>時機</u> に合った、必要性の高い学習の提供	・ <u>時世</u> に合った、必要性の高い学習の提供	時代の流れに応じた研修を行っていくため。

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
34	42	4 EQ* 検査の実施		<u>番号 4</u>	<u>削除</u>	E Q 検査の実施検討を行い、E Q 検査以外の研修を実施することとしたため。
35	43	5 上司の人材育成能力の向上策の実施	概要	O J T 推進のための職場研修指導者養成研修を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。	O J T 推進のための O J T 指導者養成研修を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。	表現の変更
36		6 学び続ける意欲の保持・向上策の実施	概要	<u>目標管理シートや業績評価シートに自己啓発目標の項目を追加する。</u>	<u>目標管理シートや業績評価シートにより、自己啓発の目標を明確にする。</u>	項目を引き続き設けているため。
37	44	3 多様な採用形態の活用	概要	任期付職員*、再任用職員、嘱託員、臨時職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	任期付職員*、再任用職員、臨時・非常勤職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	嘱託員制度が廃止され、臨時・非常勤職員に包含されるため。
38	48	1 GIS* の活用（工事箇所情報、災害時の情報等の提供）	改革工程	令和 2 年度以降 工事箇所、災害時の情報等の提供	令和 2 年度以降 ・次期システムの運用 ・工事箇所、災害時の情報等の提供	令和 2 年度に次期システムの運用を開始するため。
39			その他	令和 2 年度に次期システム運用予定	<u>削除</u>	
40		2 IC タグ* 利用システムの検討		<u>番号 2</u>	<u>削除</u>	IC タグの利用について検討を行い、実施しないこととしたため。
41	49	1 住民情報システムの運用	改革工程	<u>システム、次期システム運用</u>	<u>次期システム運用</u>	令和 2 年度に次期システムの運用を開始するため。
42			その他	令和 2 年度に次期システム運用予定	<u>削除</u>	
43		2 行政情報システムの運用	改革工程	システムの運用	・システムの運用 ・次期システムの検討	令和 5 年度に次期システムの更新を行う予定であるため。
44			その他		<u>令和 5 年度に次期システム運用予定</u>	

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
45	53	用語解説	あ行		<ページ> <u>49</u> <用語> <u>RPA</u> <用語解説> <u>Robotic Process Automation の略。定型的なパソコン操作をソフトウェアにより自動化するもの。</u>	用語の追加
46				<ページ> <u>42</u> <用語> <u>EQ</u> <用語解説> <u>Emotional Intelligence Quotient の略。「こころの知能指数」ともいわれ、自分の感情や他者の感情を把握し、自分の感情をコントロールする知能の指数。</u>	削除	用語の削除
47				<用語> インターンシップ <u>制度</u>	<用語> インターンシップ	用語の変更
48					<ページ> <u>49</u> <用語> <u>AI－OCR</u> <用語解説> <u>AI（人工知能）技術を活用して、手書きや印刷された文字をコンピュータが利用できる文字データに変換する技術。</u>	用語の追加

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
49	53	用語解説	あ行		<ページ> <u>43</u> <用語> <u>0JT 指導者養成研修</u> <用語解説> <u>職場研修をより効果的に行うために、各課における 0JT 指導者を養成する研修。</u>	用語の追加
50				<用語> <u>オープンカレッジ</u> <用語解説> <u>公開講座。講座（テーマ）を複数用意し、受講希望者が一定数以上となった際に開講する。</u>	<用語> <u>オープンカレッジ</u> <用語解説> <u>勤務時間外に行う公開講座。職員が講師となり、時世に合った内容をテーマとした複数の講座を開講する。</u>	用語解説の変更
51	54	用語解説	さ行	<ページ> <u>43</u> <用語> <u>職場研修指導者養成研修</u> <用語解説> <u>職場研修をより効果的に行うために、各課における職場研修指導者を養成する研修。</u>	削除	用語の削除
52				<ページ> <u>18</u> <用語> <u>全国移住ナビ</u> <用語解説> <u>総務省が関係省庁と連携し、全国の自治体と共同して構築するポータルサイト。居住・就労・生活支援等に係る総合的なワンストップ化を図る。</u>	削除	用語の削除

番号	頁	件名	項目	変更前	変更後	理由
53	55	用語解説	は行		<ページ> <u>18</u> <用語> <u>穂っとネット東三河</u> <用語解説> <u>愛知県が東三河地域を中心としたつながりを、今よりもっと広く大きくしていこうというコンセプトで展開しているポータルサイト。東三河の見どころを、一般の方からの投稿等を基に作りあげる参加型のサイト。</u>	用語の追加